

「せまい服」について。



せまいつらの醜態胡味を
あなたにも！というこのコーナー。
「ドキドキするせまき」
私の中での大本命が
早くも登場です。

一人きりになれる
せまい空間の究極といえは
やはりこれ。



宇宙服でしょ。

「せまい服」について。

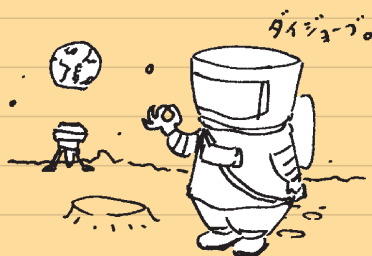


自分の周り

数センチから数ミリの
空間でびっけり
くるまれているのだから
こんな「せまい」所は
ありません。

せまい所マニアとしても
上級者向きと
言えるでしょう。

そもそも宇宙服とは、
人間が生存できない環境でも
「活動ができる」ことを目的として
つくられています。

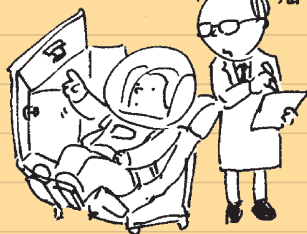


※ 二つの状況では役に立ちません。

生命を維持するのは第一なので
どうしても「着こなし」とか「動かすこと」、
「解放感」などが犠牲になります。

特に最初の頃の宇宙服は
大変だったみたいで、

上のボタンが
届く？



とどきません。

つま先
さわれる？



さわ
れません。

暑い？



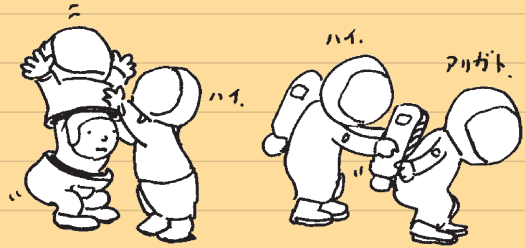
死に
ます。

テストする人はさぞかし
つらかったと思います。

ちよ、と、か、て、み、たい、です、けど、。

「せまい服」について。

この宇宙服、いろんな種類がありますが
基本的に一人では着られません。
たいてい二人一組になって「着せ合う」の
ですが、「せまき」を共有していくその姿が
なかなかほほえましくてかわいいのです。



世の中には この「せまい感じ」
「息ぐるい感じ」「守られている感じ」
が大好きで、宇宙服の
かわりにガスマスクやぐん
のスーツで全身をつんで
自分の姿を写真にとり、みたり
雨の中を散歩したり抱き合ったり
して、休日を楽しむ人々が
ごく少数います。



長グツをはいた日に、自らすすんで
水たまりに入ったりする子どもが、
何らかの事情でそのまま大き
な、た感じでしょうか。



初めて「彼ら」を本で見た時は
大笑いしましたが、

「彼ら」の
専門誌が
ある。



自分もまだまだ修行が足りないな、
とも思ったものです。

「せまい服」について。